

再犯防止シンポジウム2019 依存症からの回復

手を取りあって
手をさしのべて

犯罪を繰り返してしまう人たちの中には、違法薬物やアルコール、ギャンブルなど、依存の問題を抱えている人も少なくありません。再犯防止と依存症の関係について、考えてみませんか。依存の問題にお悩みの方やその支援者の方々はもちろん、再犯防止と依存の問題に関心のある方はどなたでもお越しく下さい。

日時 2019年7月13日(土)14:00～(受付13:00)

場所 全社協・灘尾ホール(新霞が関ビル内)

東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル

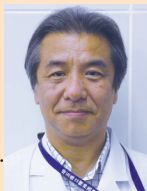
参加
無料

要事前
申込

講演



おおたわ 史絵
【総合内科専門医】



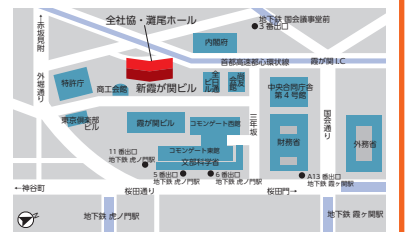
成瀬 暢也
【埼玉県立精神医療センター】

パネルディスカッション

近藤 あゆみ(国立精神・神経医療研究センター)
大嶋 栄子(NPO法人リカバリー)
加藤 隆(八王子ダルク)
古藤 吾郎(日本薬物政策アドボカシーネットワーク)
大橋 哲(法務省)

アクセス

- 東京メトロ銀座線
「虎ノ門駅」11番出口より徒歩5分
- 東京メトロ千代田線/丸の内線/日比谷線
「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分
- 東京メトロ千代田線/丸の内線
「国会議事堂駅」3番出口より徒歩5分



お申込み・お問い合わせ

メールにてお申し込みください。
詳しくは裏面を御覧ください。

synpo-saihanboushi@i.moj.go.jp

再犯防止シンポジウム事務局
(法務省大臣官房秘書課企画再犯防止推進室内)



講演



依存症家族の現実 ～再犯防止のために何ができるか～

おおたわ 史絵／総合内科専門医。通常の診療のほか、刑務所でも診療に当たる。自身も依存症者の家族であった経験を持つ。「情報ライブ ミヤネ屋」(日テレ系)ほか、メディア出演多数。



依存症からの“回復”とは？

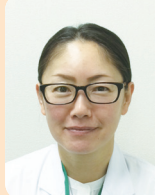
成瀬 暢也／精神科医。埼玉県立精神医療センター副病院長。日本では数少ない依存症治療の専門医。著書に「アルコール依存症治療革命」(中外医学社)、「薬物依存症の回復支援ハンドブック—援助者、家族、当事者への手引き」など。

パネルディスカッション

依存症からの“回復”を支えるために



大嶋 栄子／NPO法人リカバリー代表。様々な被害体験を持つ女性支援に携わる。著書に「“嵐”のあとを生きる人たち—「それいゆ」の15年が映し出すもの」(かりん舎)など。



近藤 あゆみ／精神保健福祉士。国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部診断治療開発研究室長。薬物依存症者を持つ家族に対する支援を専門とする。



加藤 隆／元薬物依存症当事者。特定非営利活動法人八王子ダルクの代表理事として、薬物依存症からの回復を目指す人たちの支援に携わる。

成瀬 暢也／埼玉県立精神医療センター
大橋 哲／法務省矯正局



古藤 吾郎／ソーシャルワーカー。日本薬物政策アドボカシーネットワーク事務局長。諸外国における依存症対策の動向に精通。共著書に「ハームリダクションとは何か」(中外医学社)。

御来場いただける皆さまからパネリストへの御質問を事前にお受けし、時間の許す限り、パネルディスカッションで取り上げる予定です。どんなことでも大歓迎ですので、お申込みの際にぜひお寄せください。

メールでの事前申込みをお願いします(申込期限：7月7日(日))

お申込み用
メールアドレス

synpo-saihanboushi@i.moj.go.jp

- ①名前 ②職業 ③年齢 を本文に記載してください。(パネリストへの御質問がある場合は、併せて本文に記載してください。)
- お申込みをいただいた場合、事務局から受付完了のメールを返信します。お申込み後、3日経過しても返信がない場合には、お手数ですが、事務局まで御連絡ください。
- 御提供いただく個人情報については、厳重に管理し、本シンポジウムの開催・運営に関してのみ使用させていただきます。
- 会場の都合上、500名を定員とさせていただきます。定員に達し次第、締め切りますので御了承ください。

再犯防止シンポジウム事務局(法務省大臣官房秘書課企画再犯防止推進室内)

TEL：03-3580-4100 FAX：03-3592-7009 (担当：牛島、渡邊)